

世界最大級の酒の品評会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」のSAKE部門で、渡辺酒造店(飛騨市古川町吉之町)の「蓬菜 小町桜別圃い」が、最高賞のトロフィーに輝いた。

日本酒を審査するSAKE部門は、さらに普通酒、吟醸酒など九つの部門に分かれている。審査は十三、十六日に山形市で開催。今年は国内外四百五十六の蔵元から各部門に計千六百三十九銘柄が出品された。

小町桜別圃いは普通酒で出品。昔から地元で親しまれてきた「小町桜」をベースに、飲食店用に造ったもので、より淡麗

渡辺酒造店 最高賞に輝く

「蓬菜 小町桜別圃い」世界最大級の品評会

でソフトな口当たり仕上げています。

小町桜別圃いは千円以下、生産量が十萬本以上の銘柄から選ばれる「グレートバリユーサケ」も併せて受賞した。このほか二つの銘柄が吟醸酒部門などで金賞を獲得した。

渡辺久憲社長は「晩酌で飲んでもらえるお得な酒を重視しているので、うれしい。引き続き向上させていきたい」と話している。店では今回の受賞を受け、九月から小町桜別圃いを一般向けにも販売する。七百二十ミリ入りで九百五十円(税込み)。

(浜崎陽介)



普通酒部門でトロフィーを獲得した「蓬菜 小町桜別圃い」＝飛騨市古川町吉之町で